やまだ

福祉のひろば

社会福祉法人　山田町社会福祉協議会

災害公営住宅に移る人と周辺地域の人たちが
ともに築くまちづくり講座　記事Ｐ３

3
2015
3.15
No.119

もくじ

◆赤い羽根募金・歳末たすけあい募金について …… 2
◆たすけあい資金・日常自立支援事業について …… 3
◆支え愛センター事業報告・お知らせ …… 4、5
◆社協地域福祉の事業紹介 …… 6
◆福祉団体活動紹介 …… 7
◆福祉基金・義援金　他 …… 8

赤い羽根募金・歳末たすけあい募金

募金のご協力ありがとうございます

「じぶんの町を良くするしくみ」をスローガンに赤い羽根共同募金を全国一斉に展開いたしました。
今年度も区長さんを通じて、町民の皆様よりたくさんのご協力をいただきました。

「赤い羽根共同募金１世帯700円」と「歳末たすけあい募金１世帯300円」の計1,000円を目安に募金をお願いした結果、下記のとおりとなりました。募金いただいた皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

募金結果

赤い羽根募金…3,553,899円　　**歳末たすけあい募金…1,520,747円**

《募金実績》

◆平成26年度 赤い羽根共同（一般）募金実績

・戸別募金	3,445,755 円
・街頭募金	31,904 円
・法人募金	28,572 円
・学校募金	41,155 円
・職域募金	6,481 円
・その他募金	32 円

◆平成26年度 地域歳末たすけあい募金実績

・戸別募金	1,476,752 円
・個人	1,000 円
・福祉団体	42,995 円

《助成・配分実績》

◆助成・配分内訳

・地域福祉活動助成	3,542,000 円
・町内在宅高齢者等配分	165 世帯 計 825,000 円
・福祉のまちづくり応援事業配分	4 団体 計 140,000 円

※運営委員会、審査委員会の決定により助成・配分を行っております。

赤い羽根は、岩手県共同募金会を通じて、地域福祉活動事業などに配分され、歳末たすけあいは、内訳のとおり在宅の要援護者世帯等へ配分されました。

赤い羽根募金自動販売機について

社会福祉法人岩手県共同募金会では、飲料メーカー及び自動販売機メーカーの御協力を頂き「赤い羽根募金自動販売機」設置による募金活動を推進しています。

「赤い羽根自動販売機」は飲料を購入の際、その売り上げの一部が「赤い羽根共同募金」に寄付される仕組みです。「赤い羽根自動販売機」を設置契約の際、協賛企業と設置主様の設定した割合で募金ができます。設置者様に面倒な手間はかかりません。

新規の設置のほか、既存の自動販売機をそのまま赤い羽根自動販売機に切り替えることも可能です。

ただし、自動販売機の設置契約内容により、赤い羽根自動販売機としての対応が難しい場合もありますので、詳しくはお問合わせ下さい。

24時間テレビより 入浴車の寄贈がありました

平成27年2月19日に盛岡市で24時間テレビ「愛は地球を救う」福祉車両の贈呈式が行われ、日本テレビを通じ山田町社協へ入浴車が寄贈になりました。

今回寄贈して頂いたものは、今まで山田町社会福祉協議会にはなかったタイプの入浴車となっています。

今後この入浴車は町内の高齢者から障がいをもつ方まで幅広く活躍します。

これから、山田町の皆さんの心も体も温めることができるように、たくさん走り回りますのでよろしくお願いします！

日常生活自立支援事業のご案内

日常生活自立支援事業は、自分の判断能力に不安がある方や、福祉サービスの利用の仕方がわからなかったり、預貯金の出し入れなどにお困りになったりする方を対象にして、福祉サービスの利用手続きの援助や代行、また、それにともなう日常的な金銭管理などを行なう事業です。

○具体的なサービス内容は大きく分けて3つがあります。

☆『福祉サービスの利用援助』

①福祉サービスの利用、または利用をやめるために必要な手続きの代行または代理

②福祉サービスの利用料金の支払い手続き

③福祉サービスの苦情を解決するための手続きなど

☆『日常的金銭管理サービス』

①年金及び福祉手当の受領に必要な手続き

②病院への医療費の支払い手続き

③税金や社会保険料、電気・ガス・水道等公共料金の支払い手続き

④預貯金の出し入れなどの手続き

☆『書類等預かりサービス』

①保管を希望する重要な証書類をお預かりします。

・例としては

(1)預貯金通帳

(2)年金証書

(3)証書類（保険証書・不動産権利証・契約書）

(4)印鑑など

《ご利用・ご相談・お問い合わせ先》

権利擁護センター

（宮古市社会福祉協議会内

☎64-5052）まで

あなたの暮らしに「安心」をお届けします！

生活福祉資金『教育支援資金』とは？

生活福祉資金とは、国と県が資金を出し合い、民生委員や社会福祉協議会が窓口になって生活支援を基に無利子や低利子で資金貸付をするものです。

その中に、学校教育法に基づく高等学校、大学（短期大学、及び専修学校の専門課程を含む）、高等専門学校の入学に際し必要な経費「教育支援費（授業料等）」と「就学支度費（入学金・制服・教科書等の購入費）」の2つの貸付（無利子）、教育支援資金があります。

《ご利用いただける世帯》

□低所得世帯

一定の所得額以下であって、必要な資金の融資を他から受ける事が困難である低所得世帯

□生活保護世帯

生活保護を受けている世帯

《生活福祉資金教育支援資金をご利用できない方》

○本会が実施している生活福祉資金の連帯保証人になっている方。

○他の負債との関係で、本資金を貸付ける事により、その後の生活を著しく圧迫するおそれがあると判断される方。

○母子世帯、寡婦世帯の方。（別制度あり）

○独立行政法人日本学生支援機構から借入が可能な方。

《ご相談・お問い合わせ先》

山田町社会福祉協議会

（保健センター1階）

☎82-3841

春から進学する人もこれで大丈夫だね!!

資金種類		貸付限度額	償還期間	貸付利子
教育支援資金	教育支援費	高校 月額35,000円以内 高専 月額60,000円以内 短大 月額60,000円以内 大学 月額65,000円以内	20年以内	無利子
	就学支度費	500,000円以内		

ホンモノのおたがい様を考えてみた

平成27年2月28日（土）山田町農村婦人の家にて、「あなたは、どんな地域（まち）に暮らしたいですか？」をテーマに「災害公営住宅に移る人と、周辺地域の人たちが、ともに築くまちづくり講座」を開催しました。

石峠自治会の地域の方々や豊間根アパートにお住いの方、豊間根民協の民生委員、豊間根地区に関係のある職員など24名が参加して、住みたい地域（まち）について考えました。

講師にご近所福祉クリエーターの酒井保氏をお迎えして、「支え合う事の本当の意味」や「見守らない地域づくり」を考えながら「おたがいさま」について笑いを交えながら楽しく学びました。

支え愛センター活動紹介

男女ともに盛り上がる！

コミュニケーション麻雀 in 関谷地区

まずは、麻雀ではなく様々なミニゲームを行いました！

グループ作りや、さらに仲が良くなるようなふれあい交流です！

今回は大きな牌に慣れるようなミニゲームや、仲間と盛り上がるミニゲーム、相手チームと競い合うミニゲームなどが行われました。

上手くいった時も、失敗してしまった時もみんなと盛り上がりました！

牌を使ったミニゲームを行っている際、「これカーリングみたいに滑らせたら面白くない？」の一言から始まった『キメカーリング』という新しいゲームもできました。

みんなで交互に牌を投げ合い、ピンク色のマットで止まれば1点など、ルールも名前も関谷地区の皆さんから生まれたゲームです！素晴らしい発想と行動力でスタッフも楽しませて頂きました。

参加者の一言

「麻雀と聞くと男性のイメージや、少し怖いようなイメージがありましたがとても楽しくできました」と、女性参加者の方からのお声もいただきました！

感謝の句をありがとう

町内のボランティアさんが高校の卒業アルバムを返却した際に、町民の方から頂いた句です。

今もたくさんの思い出が「思い出写真展」に眠っています。

探しやすく、居やすい環境づくりをしていますので是非一度お越しください。

五十年余年し経し
卒業記念のアルバムを
津波より
拾ひしと
届けくれたり

凛子

朗読ボランティア募集について

現在、山田町朗読ボランティアでは視覚障がいの方へ「広報やまだ」の音声訳を行っております。

「声の広報」として録音したテープを配っており、利用者の方々には大変喜ばれております。

しかし、「声の広報」を収録する際の録音ボランティアが不足しております。

視覚障がいの方々にとってとても貴重な情報源となっている「声の広報」にあなたも録音ボランティアとして参加してみませんか？

《お問い合わせ先》
山田町社協復興支え愛センター
電話・77-3262

お詫び

前回の福祉のひろばに一部間違いが掲載されていました。

P5元気のでる講演会、豊間根改善センターの開催日が間違っておりました。

この場をお借りし、お詫びいたします。

よみがえる!! あの、懐かしの曲!!

田の浜ご祝い復活プロジェクト

田の浜ご祝い復活プロジェクトとは？

「みんなが集まれる機会や、仮設住宅や家から外に出るきっかけづくりができないものか。」という声があがる中、震災前に地域の行事等で歌っていた「ご祝い唄」のカセットテープが見つかりました。しかし、かなり劣化が進んでおり、とても使用できるものではない状態でした。

ただ、幸いにもカセットテープに収録した時のメンバーがご存命であり、これを機に新たに録音し直し、田の浜地区の方々が集い唄い踊れる機会を作り出そう！というプロジェクトです。

すべては1本のテープから始まった

若い世代が地域の伝統を引き継いでいく姿は、田の浜地区だけでなく、山田町の希望の光となります！

復活した曲たち

- ◆船越小学校校歌
- ◆田の浜ご祝い唄
- ◆田の浜大漁音頭
- ◆田の浜八幡宮の唄
- ◆旧船越小学校校歌
- ◆旧船越中学校校歌
- ◆旧船越中学校生徒会歌
- ◆旧船越中学校第一応援歌
- ◆旧船越中学校第二応援歌

後世に残る歌声を

船越小学校の４年生と５年生のみなさんにも御協力頂きました。

自分たちがおじいちゃんおばあちゃんになってもこの歌声を聞いてみんなのことを思い出せるといいね

昔話に花が咲く

この歳になって応援歌を歌うとは思わなかったよ！

ひとこと

社協、ウィルビー、自治会、地区の住民の皆様で、１つのものを一からみんなで作れるのはうれしいね。

本当に地域の皆様に感謝です。

田の浜婦人会会長　菊 地 みち子

社協地域福祉の事業紹介

支え愛に感謝して！

お互いを思いやり大人も子供も成長しよう！

平成 27 年 2 月 13 日に田の浜コミュニティセンターにて、味の素さんの協力の下「親子カフェ＆女性アカデミーの合同イベント」を開催しました。女性アカデミーの会員は自分達で出来る事を考え、内面からキレイになる事を目標に参加し、親子カフェの会員は健康を考えた食事づくりと先輩お母さんたちとの交流を目標に参加しました。今回は盛岡医療福祉専門学校保育福祉課の学生さんたちがボランティアで参加してくれたので、子供たちは安心してママから離れて遊ぶ事が出来ました。大人も子供も心の成長が見られた合同イベントになりました。

お兄ちゃん！お姉ちゃん！大好き

パネルシアターで歌ったり、お膝に座って絵本を読んだり、バルーンアートで楽しんだりとママと離れて遊べました。

好き嫌いしない子は親孝行

２歳から 60 代の幅広い年齢層のお食事会です。出る話題の共通点は…。

子どもたちも「おいしいね」とカブや小松菜も残さず完食しました。

大沢の空に笑い声ひびく！

山田町大沢地区震災復興事業共同企業体様に感謝

山田町大沢地区震災復興事業共同企業体様より大沢地区ＣＭＪＶ工事事務所「復興事業案内所」をお借りして２月16日（月）大沢・新開地地区の「在宅よりあいっこ」を開催しました。この地区では、集会所など集う場所がなく、寒い冬場は「よりあいっこ」をお休みしていました。参加された皆さんは「集まるところが出来てうれしい」と賑やかな時間をすごしました。

参加者の皆さんの重機の音に負けないくらいの笑い声は大沢の空にひびいておりました。

福祉団体活動紹介

山田町社会福祉協議会では、福祉団体の事務運営を行っています。

少しの思いやりが大きなパワーに!!

平成 26 年 12 月 3 日飯岡老人クラブ佐々木鋼文会長と 3 名の会員の方々で社協事務局に募金を持って来所されました。「福祉に役立ててください」と今年は「赤い羽根共同募金」に 22,995 円募金してくださいました。

飯岡老人クラブでは、定例会の度に会員の方や会員以外の友好者の方々がコツコツと 1 円募金をし、奉仕活動を活発に行っております。

温かい真心ありがとうございました。

ふれあい！にぎわい！

平成 27 年 1 月 20 日（火）　光山温泉にて、身体障がい者協議会の会員 15 名、ボランティア 2 名が参加し、ふれあいの集い新年会が開催されました。

当日は美味しい料理をいただき、カラオケの披露もあり、皆さん楽しまれている様子でした。今回の新年会は新会員の参加もあり、いつにもまして賑やかな会となりました。

手をつないで、心も繋がる！

平成 27 年 1 月 14 日（水）、山田町中央公民館 2 階小ホールにて、手をつなぐ親の会の皆様、はまなす学園、グループホーム希望の利用者・職員合わせて 90 名余りが参加し、手をつなぐ親の会親子お楽しみ新年会が開催されました。ゲームやカラオケを楽しみ、なかでも女子グループによる踊りで、会場はとても盛り上がりました。

わいわい楽しく♪

平成 27 年 1 月 18 日（日）、山田町母子福祉協議会では光山温泉にて新年会を開催しました。参加した 35 名の会員はおいしい料理をお腹いっぱい食べた後、日頃の疲れを温泉で癒したり、歌や踊りやビンゴゲームで盛り上がり、にぎやかで楽しいひとときを過ごしました。久々に会う会員同士は終始、話に花が咲き親睦を深めていました。

自分らしく生きるとは

平成 27 年 2 月 17 日（火）山田町中央コミュニティセンターの集会室にて山田町民生委員児童委員協議会の高齢者福祉部会研修会が開催されました。

これから自分が自分らしく生きるため、自分らしく暮らしていくにはどうしたらいいか、また、それを周りの方々にどう伝えておくべきかを学びました。

民生児童委員として、地域住民の方々への伝え方や、理解して頂くための方法などの質問があるなど活発な意見交換がされました。

福 祉 基 金

善意のご寄付ありがとうございました

会長　佐々木　正　弘

基金の果実による資金は、山田町民全体の地域福祉増進のため、有効に活用させます。平成 26 年 11 月 27 日から平成 26 年 12 月 25 日まで、次の方々から福祉基金として、ご寄付をいただきました。

- ○ 個人・団体からの寄付金
- ○ 香典返しやお祝い
- ○ 催し物による収益金　等

寄付金

- ◆ 大沢老人クラブ　様　26,779 円
- ◆ 匿　　名　様　5,000 円
- ◆ 連合岩手宮古地域協議会　様　50,000 円

平成 26 年度 累計額　**170,220 円**

ありがとうございました

災害義援金とその活用について

活用について

平成 27 年 1 月 28 日山田町中央コミュニティセンターにおいて寄贈式が行われました。この式は義援金を送られた多くの方から「子供たちのために使って欲しい」という声が多く、今回、山田町に児童図書を 196 冊寄贈することになりました。この児童書のほか、社協に送られた義援金は下記の通り使われております。

平成 23 年度：町内保育園・幼稚園への助成
平成 24 年度：流出した車いすなどの購入
平成 25 年度：流出した車両の購入
平成 26 年度：児童図書の購入

今後も社協に送られた義援金は、町内の子供から高齢者、障がいを持つ方に広く活用します。

義 援 金

◆未来の笑顔に向けてプロジェクト
代表者　染 野 佑 太　様（東京都）　26,000 円

◆ＮＴＴ労働組合北関東信越総支部
情報労連群馬県協議会　様　395,000 円

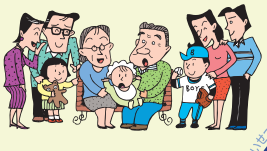
◆山形村社会福祉協議会（長野県）様　17,987 円

平成 26 年 11 月 27 日から平成 26 年 12 月 25 日まで次の方々から義援金として、ご寄付をいただきました。

平成26年度累計額 1,207,480円
ありがとうございました

お手伝いします　安心・安らぎ・生きがいのある暮らし

株式会社 小田島アクティ



本社　岩手県花巻市東町1-5　ホームページアドレスhttp://www.odashima-acty.co.jp

たいせつにします プライバシー
E820038(01)

■福祉用具・介護用品関係

レンタル	介護用品販売	大人用紙おむつ宅配	住宅改修	医療機器販売	カタログのご案内

介護用品部	釜石営業所	釜石市鵜住居町第3地割48−2 日建リース工業内企業団地B棟−1	電話0193−28−3801	FAX0193−28−3821
	岩手営業所	盛岡市津志田町1丁目11番15号	電話019−636−1208	FAX019−636−1203
	高田営業所	陸前高田市高田町字鳴石15−1区画1	電話0192−55−5228	FAX0192−55−5340
福祉用具センター	ぼだいじゅ	花巻市東町1番5号	電話0198−21−1037	FAX0198−24−3787
	ぼだいじゅ一関	一関市山目字前田72−1	電話0191−23−6140	FAX0191−23−6140
医療食品・通信販売	医療食品部内 まごころ受注センター	盛岡市津志田町1丁目15番37号	電話フリーダイヤル0120−92−1480 FAXフリーダイヤル0120−92−1478	

ふれあいネットワーク
社会福祉法人 **山田町社会福祉協議会**

〒028-1341　岩手県下閉伊郡山田町八幡町３番 20 号　山田町保健・老人福祉センター内
TEL：0193-82-3841　FAX：0193-82-5670
E-mail：y-shakyo@echna.ne.jp　ホームページ　http://www.yamada-shakyo.or.jp/

［企画・発行］　社会福祉法人　山田町社会福祉協議会　［印刷］株式会社　東海印刷所

※ 広報誌は、共同募金配分金の一部をあてて発行しています。